

# 地域を挙げて取り組む 学力アップ大作戦

学力アップ大作戦を切り盛りする  
コーディネーターに聞いてみました。



あきひと  
西尾 明人さん(左)、逆瀬川 薫さん

**西尾さん**：学力アップ大作戦が始まった平成26年からコーディネーターとして参加しています。PTA会長をしていた縁で学校から声をかけていただきました。城東小では、土曜日に学習会を開催しています。学校が休みの日なので、子どもたちに気軽に足を運んでもらえるよう、笑顔で来やすい雰囲気づくりを心がけています。「勉強楽しい」と思ってもらえるように頑張っていきたいですね。

**逆瀬川さん**：子どもたちの役に立てるならとお手伝いを始めました。みんな100マステや算数のプリントに一生懸命取り組んでいますよ。1学期よりも集中力が上がりましたね。成長が見て取れるのがうれしい。学習会にはボランティアの力がとても大きいです。「孫や子どもが来ているから」とボランティアで参加してくれる地域の人たちが、子どもたちの学びには欠かせない存在です。地域ぐるみで取り組んでもらえるということは大変ありがたく思います。

## 全国学力・学習状況調査

高崎の小中学校では、  
調査科目の全教科で全国6位以内

全国学力・学習状況調査は、平成19年度から義務教育の機会均等と水準の維持向上、学習状況の改善などに役立てることを目的に実施。今年度は、小学6年生を対象に国語と算数の2教科、中学3年生を対象に国語と数学、英語の3教科の他、生活習慣や学校環境に対する調査を行いました。調査結果が国から発表され、報道機関の算出による順位に本市の正答率を当てはめると、小学校の国語・算数、中学校の国語・数学は全て全国6位以内でした。今年初めて実施された英語については、東京都などと同じ全国1位。本市は、全教科が全国で上位という結果が分かりました。

**実情に合わせて行う  
地域ぐるみの学習支援**

市は、地域の力を生かしながら、子どもたちの学力向上を図る「学力アップ大作戦」を平成26年度から実施しています。市内83の各小中学校で、放課後や土曜日などに無料の学習会を開催。活動の中心と

なるのは、保護者をはじめ、地域の人たち、学校関係者などで構成された地域運営委員会です。

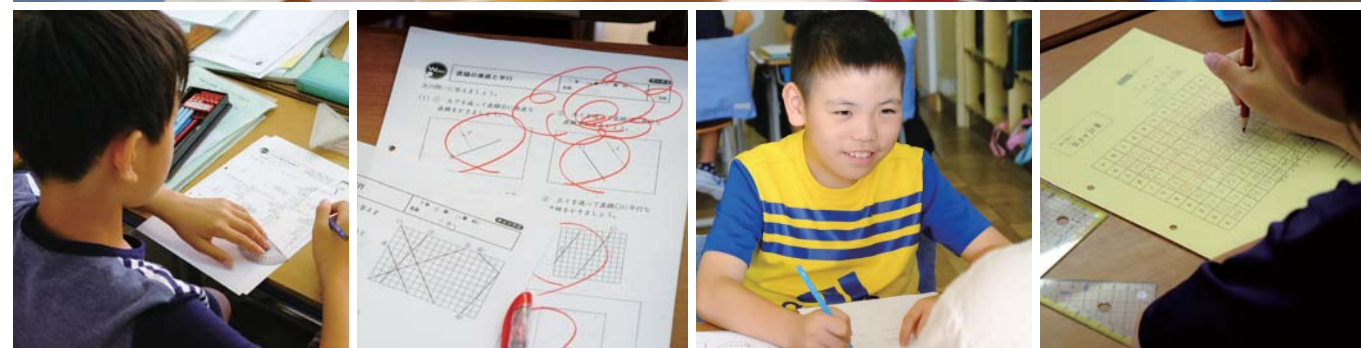
算数・数学を中心に、市内共通の教材を基に作成したプリントを使って、地域の人たちがボランティアで子どもたちの学習を支援します。今年度からは、新たに、社会、理科、中学生は英語を含めたプ

リント学習ができるようになりました。

平成30年度の学習会は、市内で延べ2467回開催され、延べ7万人を超える児童・生徒と、延べ2万人を超えるボランティアが参加しました。

地域を挙げての子どもたちの学習支援活動は、全国的にも珍しい取り組みです。

# 市内各校で「学力アップ大作戦」 学校と地域が連携して学びたい子どもたちを応援



**城東小学校の土曜スクール**

指導役として保護者や地域の人たちがボランティアで参加。3・4年生を対象に、100マステや算数のプリントなどを使ってきめ細やかな学習支援を心がけ、子どもたちが楽しく学べる工夫も凝らしています。

この背景には、子どもたちや教職員の頑張りはもちろん、地域の人たちの努力による学力支援や本市独自の英語教育への取り組みがあります。

今回号では、本市が独自に取り組んでいる、タカサキ方式の教育について紹介します。

問い合わせは、学校教育課（☎321・1293）へ。

# タカサキの 確かな教育

子どもたちの可能性を引き出す  
地域と一緒に取り組む学びづくり。

平成31年度 やる気アップカルテ

△年 4組

回数	月/日	得点	時間	アイテム ページ数
1	5月25日	70	分 秒	
2	6月1日	84	分 秒	
3	6月8日	88	分 秒	
4	6月15日	85	分 秒	
5	6月22日	90	分 秒	
6	7月6日	99	分 秒	
7	7月13日		分 秒	

計算に要した時間や点数などを記録し「見える化」することで「やる気」につなげる工夫も



### 生徒とALTに、授業の様子やそれぞれの印象について聞いてみました。



1年  
有賀 あうるさん

エドワード先生は優しく、発音も分かりやすく教えてくれます。小学校でも英語の授業があったので、勉強は難しくなったけれど、スムーズに取り組んでいます。分かる単語の数が増えてきて、英語が楽しくなってきました。勉強して外国の人と話ができるようになりたいです。

### Every Child Matters

～ 全ては子どもたちのために ～



ALT  
エドワード ノーさん

生徒たちは、英語の授業に一生懸命です。みんなから英語であいさつしてくれるようになったのがうれしいですね。話すスピードや、長文は数単語ずつに区切って発音するなど、生徒が分かりやすいように気を付けています。アイコンタクトを取りながら話すことも大切に。外国に行きたい、外国の人と友達になりたいなど、目標を持つと英語力も上がると思います。

The world is vast so please explore it! If it is you, you can do it! English is part of the way!



一人一人生徒たちの発音をチェック



英会話はジェスチャーを交えながら



お互いに習った英語表現を使って会話



生徒たちは繰り返し発音練習



### 高南中学校のALTによる英語の授業風景

ALTと英語教諭が基本となる会話を例示します。ALTの後に続いて、生徒たちは発音練習。発音がきちんとできているかALTが確認します。例文を覚えたら、他の単語を使ってクラスメートと会話の練習。みんなで授業で学んだことを確認して終わります。



命令文の作り方を覚える授業



授業の目標に関連する例文をALTが発音します



いろいろな動詞を使って命令文を作る。いくつできたかな

### 他にもあります。子どもたちの「やる気」を応援する学びの場

#### 小学生向けの「イングリッシュサマーフェスタ」 中学生向けの「イングリッシュサマースクール、キャンプ」

ALTの協力で英語でのコミュニケーション能力の向上を図るイベントです。

フェスタは、小学5・6年生が対象です。スタンプラリー形式で各ブースを回り、外国の商品の値段を当てたり、ダーツをしたりして英語でのやりとりを体験。



サマースクールとサマーキャンプの対象は中学生です。スクールは、4日間ALTと1対1で話したりスピーチしたりすることで、身近なことや自分の考えなどを表現する力を養います。キャンプは3日間英語を使って生活し、異文化体験をしながら英語力を高めるものです。

#### 中学生向けの「中学生休日学習相談ステーション」

中学生を対象とした無料の学習相談です。対象科目は数学と英語。これは、中学生の学力向上や学習習慣の定着を図り、学習への興味・関心を高めることを応援するためのものです。

開催日時は日曜日の午後で、会場は各公民館です。教職経験者や大学生が、数学と英語に関する質問や相談を受け付けます。

この「学ステ」を利用した生徒から、「環境が良く、集中して勉強に取り組める」「分からないところを丁寧に教えてくれた」「講師の先生が声かけしてくれるので質問しやすい」などの声が届いています。

## ALTの全校配置で変わる英語力

英語に親しみ国際感覚を持った子どもに

本市独自の英語教育

市は、平成29年以降、市内83の全小中学校にネイティブスピーカーのALT（英語指導助手）を配置し、小学1年生から英語に親しめるような教育環境を整えています。各ALTは、担任の教員らと連携して授業を行います。英語を母国語とするネイティブのALTと触れ合い、生きた英語を学ぶことで、子どもたちは自然と高い英語力を身に付けることができます。人口30万人以上の都市で、全校へのALT配置は、ほとんど見られません。本市ならではの国際教育の実践と言えます。全国的に小学校の英語教育は、令和2年度以降、3年生から行うことになっていますが、本市独自の取り組みとして、小学1年生からの授業をすでにスタートさせています。低学年からネイティブの生きた英語に慣れ親しむ、話したり聴いたりすることで、高い英語力を養うことが期待されます。地域と学校、市が協力して次代を担う子どもたちを育てていきます。